

改正後	現行	差異
カード規定	カード規定	
<u>(令和7年5月1日現在)</u>	<u>(令和6年10月1日現在)</u>	
<u>1 カードの利用</u>	<u>1. (カードの利用)</u>	変更
普通貯金（利息を付さない旨の約定のある普通貯金無利息型（決済用）、総合口座取引および総合口座（普通貯金無利息型）取引の普通貯金を含みます。以下、同じです。）、営農貯金、貯蓄貯金について発行したJAキャッシュカードおよびJAカードローンについて発行したJAローンカード（キャッシュカード）（以下、これらを「カード」といいます。）は、同一名義で当会に開設された全ての貯金口座または貸越口座について、次の場合に利用することができます。	普通貯金（利息を付さない旨の約定のある普通貯金無利息型（決済用）、総合口座取引および総合口座（普通貯金無利息型）取引の普通貯金を含みます。以下、同じです。）、営農貯金、貯蓄貯金について発行したJAキャッシュカードおよびJAカードローンについて発行したJAローンカード（キャッシュカード）（以下、これらを「カード」といいます。）は、それぞれ当該貯金口座または貸越口座について、次の場合に利用することができます。	変更
① 当会、当会が提携した他の農業協同組合（信用農業協同組合連合会を含みます。以下、「提携組合」といいます。） <u>もしくは</u> 当会がオンライン現金自動預入機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「入金提携先」といいます。）の現金自動貯金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「貯金機」といいます。）を使用して、 <u>または当会もしくは提携組合の店舗に設置しているタブレット、ピンパッド等の機器を使用して、</u> カードローンの貸越の返済、普通貯金、営農貯金または貯蓄貯金（以下、これらを「貯金」といいます。）に預入れをする場合（以下、これらの取引を単に「入金」といいます。）	① 当会、当会が提携した他の農業協同組合（信用農業協同組合連合会を含みます。以下、「提携組合」といいます。） <u>および</u> 当会がオンライン現金自動預入機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「入金提携先」といいます。）の現金自動貯金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「貯金機」といいます。）を使用してカードローンの貸越の返済、普通貯金、営農貯金または貯蓄貯金（以下、これらを「貯金」といいます。）に預入れをする場合（以下、これらの取引を単に「入金」といいます。）	変更
② 当会 <u>もしくは</u> 当会がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下、提携組合を含めて「出金提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「支払機」といいます。）を使用して、 <u>または当会もしくは提携組合の店舗に設置しているタブレット、ピンパッド等の機器を使用して、</u> カードローンの貸越を受け、または貯金の払戻しをする場合（以下、これらの取引を単に「払戻し」といいます。）	② 当会 <u>および</u> 当会がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下、提携組合を含めて「出金提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「支払機」といいます。）を使用してカードローンの貸越を受け、または貯金の払戻しをする場合（以下、これらの取引を単に「払戻し」といいます。）	変更
⑤ 当会 <u>または</u> 提携組合の <u>店舗に設置しているタブレット、ピンパッド等の機器を使用して、振込の依頼、届出事項の変更、口座振替の依頼等</u> を行う場合	⑤ 当会 <u>および</u> 提携組合の <u>窓口で入金</u> および <u>払戻し</u> を行う場合	変更
⑥ 当会 <u>もしくは</u> 提携組合の <u>貯金機、支払機もしくは振込機を使用して、または当会もしくは提携組合の店舗において、当会または提携組合の店舗に設置しているタブレット、ピンパッド等の機器を用いて貯金の残高や届出情報を表示する場合</u>		追加
⑦ その他当会所定の取引をする場合	<u>⑥</u> その他当会所定の取引をする場合	変更
<u>2 入金</u>	<u>2. (貯金機による入金)</u>	変更
(1) 貯金機を使用して入金する場合には、貯金機の画面表示等の操作手順に <u>し</u>	(1) 貯金機を使用して入金する場合には、貯金機の画面表示等の操作手順に <u>従</u> って、貯金機にカード、または通帳（当会および提携組合に限ります。）を所定の	変更

改正後	現行	差異
<u>たが</u> って、貯金機にカード、または通帳（当会および提携組合に限ります。）を所定の方法で挿入し、現金を投入して操作してください。	方法で挿入し、現金を投入して操作してください。	
(2) 貯金機による入金、貯金機の機種により当会および入金提携先所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、 <u>1</u> 回あたりの入金は、当会および入金提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。	(2) 貯金機による入金、貯金機の機種により当会および入金提携先所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、 <u>1</u> 回あたりの入金は、当会および入金提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。	変更
(3) <u>入金機の代替として、ピンパッドを用いて窓口で入金する際は、当会（提携組合の窓口の場合は、その提携組合）所定の入金票に届出の氏名、金額を記入のうえ、カードとともに提出してください。なお、入金にあたっての限度額については、前項に定めるとおりとします。</u>		追加
(4) <u>当会または提携組合の店舗においてタブレット等を用いて入金をする際は、店舗に設置されたタブレット等に届出の氏名、金額を入力してください。</u>		追加
<u>3 払戻し</u>	<u>3.（支払機による払戻し）</u>	変更
(1) 支払機を使用して払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に <u>したが</u> って支払機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。	(1) 支払機を使用して払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に <u>従</u> って支払機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。	変更
(2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当会または出金提携先所定の金額単位とし、 <u>1</u> 回あたりの払戻しは、当会または出金提携先所定の金額の範囲内とします。なお、 <u>1</u> 日あたりの払戻しは当会所定の金額の範囲内とします。	(2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当会または出金提携先所定の金額単位とし、 <u>1</u> 回あたりの払戻しは、当会または出金提携先所定の金額の範囲内とします。なお、 <u>1</u> 日あたりの払戻しは当会所定の金額の範囲内とします。	変更
(3) 支払機を使用して払戻しをする場合に、払戻請求金額と第5条第1項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。	(3) 支払機を使用して払戻しをする場合に、払戻請求金額と第6条第1項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。	変更
	<u>4.（カードによる窓口での入金および払戻し）</u>	削除
	<u>(1) カードによる窓口での入金の際は、当会（提携組合の窓口の場合は、その提携組合）所定の入金票に届出の氏名、金額を記入のうえ、カードとともに提出してください。</u>	削除
(4) <u>ピンパッドを用いて窓口で払戻しを行う際には、当会所定の払戻請求書に金額および届出の氏名を記入のうえ、カードとともに提出してください。なお、払戻しの際の1回あたりの限度額および限度額超過時の対応は前二項に定めるとおりです。</u>	<u>(2) カードによる窓口での払戻しの際は、当会所定の払戻請求書に金額および届出の氏名を記入のうえ、カードとともに提出してください。</u>	変更
(5) <u>当会または提携組合の店舗においてタブレット等を用いて払戻しをする際は、店舗に設置されたタブレット等に届出の氏名、金額を入力してください。</u>		追加

改正後	現行	差異
	<u>なお、提携組合の窓口での払戻しの際は、カードを提出し、その提携組合所定の手続きに従ってください。</u>	削除
	<u>(3) カードによる窓口での入金、払戻しの際の1回あたりの限度額は、当会（提携組合の窓口の場合は、その提携組合）が定めるところによるものとします。</u>	削除
	<u>(4) 窓口でカードにより払戻す場合に、払戻請求金額と第6条第1項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。</u>	削除
<u>4 振込機による振込</u>	<u>5. (振込機による振込)</u>	変更
振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に <u>したが</u> って、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における貯金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。	振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に <u>従</u> って、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における貯金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。	変更
<u>5 自動機利用手数料等</u>	<u>6. (自動機利用手数料等)</u>	変更
<u>6 代理人による預入れ・払戻しおよび振込</u>	<u>7. (代理人による預入れ・払戻しおよび振込)</u>	変更
<u>7 貯金機・支払機・振込機故障時等の取<u>り</u>扱い</u>	<u>8. (貯金機・支払機・振込機故障時等の取扱い)</u>	変更
(1) 停電、故障等により貯金機による取 <u>り</u> 扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当会および提携組合の窓口でカードにより入金を行うことができます。	(1) 停電、故障等により貯金機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当会および提携組合の窓口でカードにより入金を行うことができます。	変更
(2) 停電、故障等により当会および提携組合の支払機による取 <u>り</u> 扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当会が支払機故障等の取 <u>り</u> 扱いとして定めた金額を限度として当会および提携組合の窓口でカードにより払戻すことができます。なお、提携組合以外の出金提携先の窓口では、この取 <u>り</u> 扱いはしません。	(2) 停電、故障等により当会および提携組合の支払機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当会が支払機故障等の取扱いとして定めた金額を限度として当会および提携組合の窓口でカードにより払戻すことができます。なお、提携組合以外の出金提携先の窓口では、この取扱いはしません。	変更
(3) 前2項による入金 <u>は第2条3項および4項、払戻しは第3条4項および5項</u> によるものとします。	(3) 前2項による入金 <u>および払戻しを行う場合には、第4条</u> によるものとします。	変更
(4) 停電、故障等により振込機による取 <u>り</u> 扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、前2項によるほか振込依頼書を提出することにより振込を依頼することができます。	(4) 停電、故障等により振込機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、前2項によるほか振込依頼書を提出することにより振込を依頼することができます。	変更
<u>8 カードによる入金・払戻し金額等の通帳記入</u>	<u>9. (カードによる入金・払戻し金額等の通帳記入)</u>	変更

改正後	現行	差異
<b>9 本人確認</b>	<b>10. (カード・暗証の管理等)</b>	変更
(1) 当会は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当会が本人に交付したカードであること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当会所定の方法により確認のうえ貯金の払戻しを行います。	(1) 当会は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当会が本人に交付したカードであること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当会所定の方法により確認のうえ貯金の払戻しを行います。 <u>当会の窓口においても同様にカードを確認し、入力された暗証と届出の暗証との一致を確認のうえ取扱いをいたします。</u>	変更
(2) <u>カードを、タブレット等を通して本人確認手段として利用する場合は、当会または提携組合所定の操作手順にしたがって、当会または提携組合の所定の端末にカードを挿入し、届出の暗証を正確に入力してください。</u>		追加
(3) <u>当会または提携組合は、前記によりタブレット等に入力された暗証と、届出の暗証との一致を確認することにより本人確認を行うものとします。</u>		追加
(4) <u>当会または提携組合所定の場合には、前二項に加え、本人確認書類の提示等当会所定の手続を行うことがあります。</u>		追加
<b>10 カード・暗証の管理等</b>		追加
<u>(1) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合、または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当会に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる貯金の払戻し停止の措置を講じます。</u>	<u>(2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合、または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当会に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる貯金の払戻し停止の措置を講じます。</u>	変更
<u>(2) 当会または提携組合が、前記 9の本人確認手続を行ったうえで、払戻し、払戻請求書、諸届その他の書類を取り扱った場合（当会が貯金の払戻しに応じたことを含みます。）は、カードまたは暗証につき事故があっても、そのために生じた損害については、当会は責任を負いません。ただし、後記 11および12に定める場合にはこの限りではありません。</u>		追加
11_偽造カード等による払戻し等	11. <u>(偽造カード等による払戻し等)</u>	変更
12_盗難カードによる払戻し等	12. <u>(盗難カードによる払戻し等)</u>	変更
ただし、当該払い戻しが行われたことについて、当会が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があることを当会が証明した場合には、当会は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。	ただし、当該払戻しが行われたことについて、当会が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があることを当会が証明した場合には、当会は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。	変更
(3) 前2項の規定は、第1項にかかる当会への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な貯金払戻しが最初に行われた日。）から、2年を経過する日後に行われた場合には、適用されないものとします。	(3) 前2項の規定は、第1項にかかる当会への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な貯金払戻しが最初に行われた日。）から、2年を経過する日後に行われた場合には、適用されないものとします。	変更

改正後	現行	差異
(4) 第2項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当会が証明した場合には、当会は補てん責任を負いません。	(4) 第2項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当会が証明した場合には、当会は補てん責任を負いません。	変更
13_カードの紛失、届出事項の変更等	13_ <u>(カードの紛失、届出事項の変更等)</u>	変更
(1) 前項の暗証の変更については、貯金機、支払機、振込機（当会および県内の提携組合に限ります。） <u>およびタブレット等</u> により届出ることができます。この場合、貯金機、支払機、振込機 <u>およびタブレット等</u> の画面表示等の操作手順に <u>したが</u> って貯金機、支払機、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および変更後の暗証を正確に入力してください。この場合、前項にかかわらず、書面による届出は必要ありません。	(2) 前項の暗証の変更については、貯金機、支払機、振込機（当会および県内の提携組合に限ります。）により届出ることができます。この場合、貯金機、支払機、振込機の画面表示等の操作手順に <u>従</u> って貯金機、支払機、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および変更後の暗証を正確に入力してください。この場合、前項にかかわらず、書面による届出は必要ありません。	変更
14_カードの再発行等	14_ <u>(カードの再発行等)</u>	変更
15_貯金機、支払機、振込機への誤入力等	15_ <u>(貯金機、支払機、振込機への誤入力等)</u>	変更
16_解約、カードの利用停止等	16_ <u>(解約、カードの利用停止等)</u>	変更
(1) 貯金口座を解約する場合、カードの利用を取りやめる場合、カードローン取引が終了した場合（ただし、 <u>JA</u> ローンカード（キャッシュカード）に限る。）、または当会普通貯金規定（普通貯金無利息型(決済用)規定を含みます。以下、同じです。）、総合口座取引規定（総合口座（普通貯金無利息型）取引規定を含みます。以下、同じです。）、営農貯金または貯蓄貯金規定により、貯金口座が解約された場合には、そのカードを当店に返却いただくか、カードの磁気ストライプ部分を切断のうえ破棄してください。	(1) 貯金口座を解約する場合、カードの利用を取りやめる場合、カードローン取引が終了した場合（ただし、 <u>JA</u> ローンカード（キャッシュカード）に限る。）、または当会普通貯金規定（普通貯金無利息型(決済用)規定を含みます。以下、同じです。）、総合口座取引規定（総合口座（普通貯金無利息型）取引規定を含みます。以下、同じです。）、営農貯金または貯蓄貯金規定により、貯金口座が解約された場合には、そのカードを当店に返却いただくか、カードの磁気ストライプ部分を切断のうえ破棄してください。	変更
17_譲渡、質入れ等の禁止	17_ <u>(譲渡、質入れ等の禁止)</u>	変更
18_規定の適用	18_ <u>(規定の適用)</u>	変更
(1) この規定に定めのない事項については、当会普通貯金規定、総合口座取引規定、営農貯金規定または貯蓄貯金規定、ならびに <u>JA</u> カードローン取引約定書、（ただし、当会と <u>JA</u> カードローン取引約定のある場合に限る。）および振込規定により取 <u>り</u> 扱います。	(1) この規定に定めのない事項については、当会普通貯金規定、総合口座取引規定、営農貯金規定または貯蓄貯金規定、ならびに <u>JA</u> カードローン取引約定書、（ただし、当会と <u>JA</u> カードローン取引約定のある場合に限る。）および振込規定により取扱います。	変更
以 <u>上</u>	以 <u>上</u>	

改正後	現行	差異